



平山保育所運動会

## Contents

平成20年第3回定例会	2	3
一般質問	4	8
産業資料館リニューアルへ		8
総務民生、建設教育常任委員会行政視察報告		9
議会日誌・編集後記		10

### うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会

# 平成20年 第2回定例会



答弁を述べる谷川町長

## 主な内容

平成二十年第三回定例会は九月九日から九月十八日まで開催され、認定七件、予算四件、議案八件、陳情一件、発議一件、継続審査一件、人事案件六件を審議した。また一般質問は九人全員が登壇し「局地豪雨に対する防災対策について」「農業経営の実態調査の結果について」「再び地デジ難視対策について」「水族館建設の無期延期について」「省エネに配慮したLED照明の設置普及について」「小中学校の耐震化について」「デュアル・スポーツセンターのプール使用について」「みなとオアシスエリアの不法投棄について」「学習指導要領の改訂に伴う移行措置について」などについて活発な議論が交わされ、閉会時間を超えるという白熱した議論となった。また高嶋博監査委員から平成十九年度の各会計の監査報告と意見等がなされた。

### 認定

平成十九年度一般会計歳入歳出決算認定について

#### 全会一致で継続審査

平成十九年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

#### 全会一致で決算認定

平成十九年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

#### 全会一致で決算認定

平成十九年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

#### 全会一致で決算認定

平成十九年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 全会一致で決算認定

平成十九年度坂下墓地整備事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 全会一致で決算認定

平成十九年度水道事業会計歳入歳出決算認定について

#### 全会一致で決算認定

公共用地に隣接する土地の開発許可について（継続審査となっていた）

#### 全会一致で不採択

平成二十年度一般会計補正予算(第二号)

一億七千三百六十六万二千円を追加し総額五十五億八千三十四万九千円に

## 主な補正内容(事業)

### 町営網の浦アパート解体費

町営網の浦アパート(303・6㎡)解体費に約760万円

### 総合型スポーツ推進事業費

総合型スポーツ推進事業費としてキンボール、カローリング、卓球



カローリングの練習

ブ倉庫建設費と防犯グッズなどに約614万円

### 町役場耐震診断業務委託料

町役場耐震診断業務委託料に約300万円



キンボール

### 人事案件

宇多津町教育委員の選任について  
 ・山分博氏(再任)(宇多津町二六六五番地)  
 ・氏家勲氏(新任)(宇多津町浜七番丁一〇四番地九)

### コミュニティ分館建設設計委託料

浜七、浜九コミュニティ分館建設設計委託料として50万円



浜七、浜九コミュニティ分館建設予定用地

大石光昭(新任)(宇多津町一四三七番地)の三氏選任に全会一致で同意した  
 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
 ・黒田紀子氏(再任)(宇多津町二二二〇番地二)を全会一致で適任であると答申した。

固定資産税評価審査委員会委員の選任について

・柴村賢三氏(再任)(宇多津町二六八九番地)  
 ・徳田豊國氏(新任)(宇多津町二六二八番地二二一)の二氏の選任を全会一致で同意。

### 陳情

貧困の連鎖を断ち切り、市民生活を底上げすることを求める陳情書について

賛成多数(八人)で趣旨採択した

### 発議

後期高齢者医療制度廃止に関する意見書について

賛成少数(一人)で原案否決

### 条例改正

宇多津町税条例の一部を改正する条例

賛成多数(八人)で原案可決  
 内容 前納報奨金の廃止(住民税)と減額二分の一(固定資産税)に來年度より実施予定

住民の皆様へ

「意見書、陳情、要望書などの受付」について

締め切りは定例会の前月末日(十二月定例会では十一月三十日)までの受付とし、それ以降は次回の定例会の取り扱いとさせていただきます。

安全、安心ステーション  
 安全、安心ステーションプレハ

Q&A

## 局地豪雨に対する防災対策は？



香川虎生 議員

**Q** 気象台が警報を出していない時の避難情報等の伝達方法は。下水道の計画を超える雨が降った場合の対策は。役場周辺の浸水対策は。

**A** 谷川町長 この間の豪雨の様な状況下での伝達方法をどうするか、苦慮しています。これから大いに研究しなければと思っています。また、あの様な豪雨に冠水しない対策が急がれ、原因を究明し、対処方法を考えたいと思います。

役場周辺の対応ですが、基本的に管の問題と関連する事でもあり、現状分析をし、対応を図り、ご懸念のないようにしなければと考えています。

**A** 岡田水道課長

現在、出来ている内容がどのようなものなのかを含め、調査し、局所的な対応で対処できるのか、抜本的な対応を考えなければならぬのかということも含め、検討していきたいと思えます。

**Q** ふるさと納税と道路特定財源諸税について

ふるさと納税は今までにあったのか。今後の周知方法、P.R.は。道路特定財源税率失効による減収はいくらか。減収の穴埋めは、減収の影響はあるのか。

**A** 谷川総務課長

申し込み状況ですが、現在のところありません。この様な状況を踏まえ、県外在住者の集まりや定期的な広報紙の発送などの機会を積極的に捉え、一層のP.R.に努めたいと思えます。

本町で暫定税率が廃止された場合、自動車税、道路関連の国の補助金など、見込んでいた額の、結果的に一カ月分の影響があり、試算すると約九百万円減収になると考えています。その穴埋めで、政府は道路特定財源の一カ月分の地方税減収の影響について、財源措置をするという様な報道があったところですが、今後とも国会を注視しながら適切に対応したいと思えます。

## 農業経営の実態調査の結果について



池田弘昌 議員

**Q** 宇多津町における農家戸数で専業農家と兼業農家の戸数、全体の農地面積、そのうち全体の水田面積、一戸あたりの水田保有面積はどれくらいですか。また、水田の耕作放棄地はいくらくらいありましたか。

**A** 宮本産業振興課長 農家戸数は一反未満の農家も含め三百七十七戸です。なお、通常、農業センサス等で調査対象となるのは二百七十七戸です。

兼業が専業かは、高齢者世帯を分離しているだけという農家もあり、把握が困難ですが、農業だけで生計を立てているのは二、三世帯とお聞きしています。

農地面積は台帳上三百三十五ヘクタール、うち水田面積は約百ヘクタール、うち今期、植付があった水田は五十一ヘクタールです。農家数で割ると三千七百七十㎡、平均約三反二畝です。耕作放棄地は現在、農業委員会が調査していますが、休耕地と放棄地とに分ける難しさもあり、今、関係者で確認をしています。

**Q** 軽油税と農薬の補助について

第一次産業用の軽油等の税金が安くなる国の補助制度があったと思いますがどうなっていますか。ジャンボタニシの駆除に昨年開発された農薬スクミノンの補助を再開してはどうでしょうか。

**A** 宮本産業振興課長

軽油燃料の補助については、条件として、耕きに始まって、代かき、植え付け、刈り取り、脱穀、これらを全て賄っている農業者が対象となります。

農薬の補助は、過去、農薬・キタジンPを補助したのですが、大東川水系にタニシの被害が突出して出たため、緊急対策として補助したと聞いています。今やジャンボタニシは県下一円に広がって、近隣の市町村でも大変問題になっています。そういうことから、隣の市町村の動向を見て、当町でも補助をするかどうか判断させて頂きたいと思っています。

## 再び地デジ難視対策について



藍川佳津樹 議員

**Q** 前回の答弁では、テレビの地上デジタル放送移行後、町内全域が100%確実に受信可能かどうか、確信の持てるものでなかった。住民が安心してその時が待てるように、現地調査をする必要があるのではないか。

**A** 谷川町長

今、100%になるかどうか懸念もあると申し上げましたが、今の調査時点のことであり、100%にするためより調査地点を増やすことは、基本的に国の事業、電波施策ですから更に国あるいはNHK等々、電波を発信する各局に対し申し入れし、しかるべき処置をとって頂くよう最大の努力をしたいと思えます。

**A** 北本政策調整室長

六月議会終了後、国に要望して現地調査を実施してもらった結果では、町は全域的に地上デジタル放送が受信可能な地域と思われません。ただ、地形や高層建築等の影響で視聴できない場合もあり、100%受信できませんとは言えないとの事です。

**Q** 道路管理の在り方



藍川佳津樹 議員

旧町内の道路整備が進んでいるが、道路が安全だけでなく、景観にも配慮する時代になるのではないか。今後、公道上の保護石、鉄板敷きの整備や景観処理を考えると必要があるのではないか。

**A** 谷川町長

旧来道路整備で、意外と私名義が道路内に残っている事例があり、理解を頂いて今のところ推進をさせて頂いています。行政も努力しますが、できるだけ住民の方々の環境整備への熱意の中で、所有の方に配慮を頂けたらと願っております。

**A** 松井建設課長

道路上の占用ですが、現在「まちづくり委員」の方々の提案により整備されている区間では、まちづくりは自分達の手でということ、委員が直接納得にあたって頂いた経緯もあり、道路上の占用がなくなってきました。その他の地域は今後、道路整備等に併せ、ご協力頂けるようお願いしたいと思います。

## 水の無い、魚のいない 映像水族館建設中止



井原猛雄 議員

**Q** 私は水族館建設問題で映像水族館疑惑ありと連続六回の質問をしました。町長は、映像水族館説明と資料配布までしておきながら「そんなことはない」と嘘の答弁を五回も繰り返しました。

**A** 中尾副町長

問題は、町長が嘘の答弁をしていることです。担当課長は、日プは映像水族館の説明と資料配布をしていると町長の答弁を覆しています。九月議会は映像水族館は建設費が30億円もかかるため業者の乗り手がなく町長の夢は遂に立ち消えになりました。

**A** 中尾副町長

水族館の整備計画は、今まで幾度となく答弁を申し上げた通り、映像のみによるものでなく、各地の水族館で見られる様な水槽内で魚が泳ぐ施設です。ご質問の映像主体の施設という事に関しては、各地の水族館との連携やそれらの紹介を行うといった取組の一環として、水族館の一部で、あるいは付属的に計画がなされているとの

説明があったものです。水族館の現状ですが、原油を始めとする資源の高騰に端を発し、鉄鋼など鋼材の高騰を招いたことから、事業者ではプロジェクトの事業計画や収支計画等の抜本的見直しを余儀なくされ今日に至っています。

Q&A

省エネに配慮したLED照明の普及を

**Q**

消費電力を削減する目的として、町が管理運営する公共施設の照明及び外灯などを少しの電力で明るくでき、白熱電球や蛍光灯に替わり高い省エネ効率のある「LED照明」を短中期的な計画で普及・設置するべきでは。

**A**

松井建設課長

LED照明は、非常によい製品だと認識はしていますが、今だ製品として余り普及していないのが現実です。業界の方に問い合わせると、住宅や事務所のように、部屋全体の照明用としては、パワー不足とか、光の広がりがないとか、あとコストが高いなどの問題があるそうです。ただ、こうした問題も、近々クリアできると業界の方から聞いています。その時は積極的に取り組んでいきたいと思っています。

**Q**

安全・安心な道路整備施策を



平田弘次 議員

自動車の速度抑制と地域から交通事故を減らす為の対策として、視覚の錯覚によって山形のブロックが立ち上がって見える路面表示材「イメージジャンプ」を導入してみています。

**A**

松井建設課長

道路に設置するイメージジャンプですが、当町での重大な交通事故は、県道飯野宇多津線（中央線）とか浜街道で起こっているのが現状です。ご発言のイメージジャンプは、資材等を拝見させて頂きますと、効果の実績もあり、施工も割と簡単ということもあり、まず、重大事故発生の多い県道において検討するよう、道路管理者の県に対して申し入れを行っていききたいと思っています。

小学校、中学校の耐震化状況は

**Q**

小学校、中学校の耐震化状況は

避難所となり、水道 電気等が使用出来ない時は、どのような対策をお考えですか。

**A**

谷川町長

限られた財源の中で、予算や町の諸課題を眺めながら、計画的に推進しなければならず、悩んだ末、若干遅れてきた事を申し上げます。

**A**

藤原学校教育課長

耐震化の対象の二校の内、宇中は17年度に体育館の改築、18年度に校舎の耐震診断、今年度に耐震補強工事の実施設計、21年度には補強工事の予定です。

宇小は14年度に現在の職員室の棟で耐震補強と改修工事、19年度に残った校舎の耐震診断、22年度以降に耐震補強と改修工事の計画です。

電気など、遮断された場合ですが、学校だけの問題ではありませんので、全体計画の中で検討が必

**Q**

こめっせ宇多津の状況は

要と思います。こめっせ宇多津の利用状況及び予定、運営委員会からの答申は、ステージはどのような使用目的で設計変更しましたか。1月より使用料が必要ですが、空調設備はどのようなお考えですか。

**A**

北本政策調整室長

利用状況ですが、7月の利用日数は12日間、8月は19日間でした。今、9月に21日間、10月に22日間、11月は27日間の予約があります。運営委員会では、こめっせ宇多津の広報、活用方法、利用に関するルール作りなどのご提案を頂いています。ステージの目的ですが、舞台として利用したり、座敷的な使い方でも利用するためです。また、東側のシャッターを上げるため、今は冷暖房施設がないのですが、冬場はストーブなど検討し、最終的には東側に何かの形でドアなり、そういったものを付けることを今のところ検討しています。



宮本 隆 議員

## デュアル・スポーツセンターのプール存続を



大松喜次郎 議員

**Q** 平成11年に6億3千万円を費やして竣工し、償還期間が6年残っている。予算を計上しながら、温水以前の早期にプール使用中止を決定した理由と今後の方針を問う。また、中学校の水泳授業への対処と施設使用規則は。

**A** 谷川町長

財政環境が当時より厳しくなっている折であり、また、角山のプールについては、建設費も、現在の維持管理費も、共に町費の負担となっている事もあり、効率的な行政運営の観点から、中学校や一般の住民の方々には、直近の角山のプール利用のご協力をお願いしたいという様な考えです。

中学校の教育の時間の確保ですが、所定の一年、二年の水泳の時間を角山のプールを活用する形で取り組んでもらいたいと町教育委員会にお願いしております。

**A** 山分教育長

使用規則、ホームページなどの一般開放に関する規定を適切な表現に改めていきたいと思います。

**Q** 入札・契約を広報やホームページで公表すべき

開かれた町を目指して、いつから公表できるのか。また、物品購入や業務委託等の随意契約情報の公表はどうか。

**A** 中尾副町長

品質を確保する総合評価方式入札の基準と今後の採用予定は。

総合評価方式は、企業の施工能力や技術者数等の評価項目を設定し、技術評価点を算定して、その値を入札価格で除し単位事業費当りの評価点で落札者を決定する方式となっております。

導入に際しては、様々な評価項目が想定され、実施方針などを定める必要がある事から、今後の予定事業費等々も総合的に勘案しつつ、検討したいと考えています。

**A** 谷川総務課長

町は一定額以上の工事等の情報を公開していますが、準備が整い次第、広報紙、ホームページでの掲載を考えています。物品購入の情報は、他市町の動向を踏まえ、公表に向け調査研究したいと考えています。

## みなとオアシスの不法投棄をどうするのか。



西本弘子 議員

**Q** 国土交通省指定の「みなとオアシス」エリア内に壊れたボート等の不法投棄が見られ、歩道にはみ出して危険なものもある。乗船場の廃屋も含めて、早急に対処頂きたい。

**A** 松井建設課長

廃船の不法投棄の件ですが、この件については、当町も以前から苦慮しており、何度か占有者に対して連絡をとり、廃船等の撤去を依頼してきた経緯があります。その結果、以前に広告塔的に支柱の上に船を置いていた物件については、特に危険だということで撤去してもらい、浮き桟橋も、台風等に危険ということで撤去してもらいました。しかし、ご指摘のように、まだ何隻かの船は残っています。

**Q** 「うたづ花まいり」で旧町の活性化を。

県内には「ぼたん寺」「萩寺」のように花で有名な寺がある。本町でも九カ寺に一種類ずつ花を植えて「うたづ花まいり」を行ってどうか。一年を通して観光客が見込めるのでは。

**A** 宮本産業振興課長

商工会から、季節毎にお寺に於いて種々の花を植え、訪れる方々の目を楽しませたいという提案がありました。今、町内各地域で花いっぱい運動がボランティアによって展開され、また、まちづくりを考える会にも多くの方々に参加されるようになったと感じます。寺社を中心に、町として、商工会やそこに暮らす方々、また、この提案にある寺社の協力のもと、そういうイベントを展開しようということでしたら、旧町のまちづくり、人づくりに取り組んでいる政策調整室、花と緑の会の主幹課である建設課と連携しながら、側面から応援していきたいと思っています。



歩道にはみ出した廃船

Q&A

学習指導要領の改訂に伴う移行措置について



谷川俊博 議員

Q

移行期間における基本方針は平成20年度に周知徹底を図り、平成21年度から可能なものは先行実施できます。その対応、取り組みをどのようにお考えなのか、また計画書の進捗状況をお伺い致します。

A

藤原学校教育課長

移行期間中、小学校では、五、六年年の総合的な学習の時間の授業数を、各学年ごとに35単位時間まで外国語活動に充てられることになりましたので、町教育委員会では、英語活動を実施予定です。中学校では、移行措置ではありませんが、今年度、二学期から、新指導要領で必修の武道、剣道を一、二学年の体育で実施予定です。計画の進捗状況ですが、今年11月頃までに21年度分の各教科等の移行期の年間指導計画を作成し、それに伴って必要な教材の購入計画を立てる予定です。また、来年1月には、日課表や週の時程表を作成する予定です。

Q

消防の広域化について

A

谷川総務課長

広域消防運営計画の作成はどのような形になっているのでしょうか。また広域化になると、地元消防団の果たす役割は大きいものと思われませんがどのようにお考えなのか。

20年にまとめられた県消防広域化推進計画に基づき、20年度から県消防広域化推進計画検討委員会で、その推進計画の実現に向けて議論がなされているとのことですが、具体的な決定事項はまだないとお聞きしています。

広域化での地元消防団の役割ですが、町は検討委員会の動向を見きわめ、広域化後の消防関係機関との連携が確保できるよう、町消防団と共に運営計画の策定を進めたいと考えており、町消防団の果たす役割も従来どおり重要ですので、団員の確保、また、自主防災組織との連携など、強化を図っていききたいとも考えています。

産業資料館リニューアルへ

愛称も「うたづ海ホテル」(仮称)に

昭和63年に建設され、長い間親しまれてきた産業資料館が新しく生まれ変わろうとしています。

今年度から工事が始まり来年の7月末にリニューアルオープンできそうです。

大勢の人に来て頂けるよう、リニューアルされる産業資料館に期待したい。



イメージ図

# 総務民生

## 常任委員会行政視察報告

総務民生常任委員会では、7月

2日から3日間の行程で子育て支援、まちづくりについての行政視察を行った。初日は熊本県植木町。

平成19年から子育てに不安や負担を感じる保護者への支援や児童教育を充実させることを目的とした

少子化対策プロジェクトが行われている。同プロジェクトの具体施策の中で注目したいのが「ファミリー・サポート・センター事業」

であり、これは「子育てのお手伝いをしてほしい方」と「子育てのお手伝いができる方」で成り立つ

会員登録制の相互援助活動で、0歳から小学生までを対象に依頼会員となる保護者の急用などで協力

会員が一時的に子供を預かり、仕事と育児の両立支援ができる環境づくりを目的とした施策である。

鹿児島県南九州市の知覧町では、

古くからの武家屋敷が多く存在し、行政主導の歴史的景観を活かしたまちづくりを行い、毎年約27万人の観光客が訪れている。また、

国の「重要伝統的建造物群保存地区」として選定され、当初は観光

地化を目的とした町並み保存であったが、

街路整備や公営住宅等に必要な趣向を取り入れるなどのまちづくりに取り組んでいる。

植木町、南九州市での視察は、実際に苦労しつつ手がけてこられた担当者の方々の声を伺うことができた。これらを参考にし宇多津

町の子育て支援の向上やまちづくり施策に活かしたい。

教育が実施されているが今後更なる充実に役立てたい。

松本市では「まちづくり交付金事業」でその内容は多岐に渡っている。アルプス公園と呼ばれている公園の整備から住宅、駅の新設、

中心市街地の活性化まである。松本城、アルプスの雄大な自然を活かしたまちづくりに活かされ取り

組んでいる。宇多津町でも臨海公園のリニューアルや古街のまちづくりに活かしたい。

# 建設教育

## 常任委員会行政視察報告

7月28日から30日まで視察研修

を行った。初日は愛知県西尾市寺津小学校へ。平成15年より小中一貫教育を行っている先進地である。

一貫教育が行われるようになった理由は15年度に寺津中学校のクラスが全学年で6クラスという構成

になり9教科担当の先生の確保が出来なくなったというのが最初の

きっかけであった。当初は「食育」と「ABC（英語）」の2教科で

あった。現在はほとんどの教科で行われている。その成果としてあ

げられる一つの結果が英語検定の準2級に中学3年生で7～8人合格するそう。普通の学校では、

1～2人程度だそうである。宇多津町でも19年度から保幼小中一貫



# 議会日誌

## 8月

- 5日 議員総会
- 12日 総務民生、建設教育合同委員会
- 18日 議員総会
- 20・21日 議会広報全国研修会
- 25日 議会運営委員会

## 9月

- 2日 議会運営委員会・議員総会
- 4日 全員協議会
- 9日 第3回定例会本会議
- 11日 一般質問
- 12日 総務民生、建設教育合同委員会
- 16日 総務民生常任委員会
- 17日 建設教育常任委員会
- 18日 全員協議会・本会議
- 29日 議員総会

## 10月

- 7日 議員総会
- 16・17日 議会運営委員会研修
- 20日 総務民生、建設教育合同委員会
- 21日 議員総会
- 27・28日 議会広報全国研修会
- 30日 四国地区町村議会議長会研修会

## 表紙の言葉



(中央保育所運動会)

今秋、3幼稚園と5保育所の運動会が天候にも恵まれて、順次開催されました。

小さい子供達は、お遊戯やかっこ親子ゲームなどに頑張り、それぞれの幼稚園・保育所が工夫を凝らし特長ある運動会でした。

先生方も小さい子供達を指導するのは、大変ご苦労だったと思いますが、子供達の真剣な姿を見て苦労が喜びに変わったと思います。

これからの宇多津町を支えて行く子供達のご指導をよろしくお願い致します。

## 開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会・夜間議会などの開催
- 各委員会による調査・研究など

ご意見等は議会へ

## 議会広報特別委員



西本弘子委員 大松喜次郎委員 宮本 隆 委員  
平田弘次副委員長 青木義勝議長 香川虎生委員長

猛暑の長かった夏がやっと終わりました。秋も深まりつつある中、朝夕寒さが感じられます。

さて、今回から表紙のデザインを少し変更し、また定例会の主な議案などについては賛否者数を記載することになりました。今後も議会だよりを作成するにあたり、町民の皆様が親しみやすくなるため、大胆に変革することを視野に入れ作成いたしますので、より一層ご愛読いただけますようお願いいたします。また、ご意見ご感想もお寄せ下さい。

## 編集後記